

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	オックスフォード大学における人文学短期研修プログラム	
学部・研究科名	人文学部	
実施期間	2016年8月31日～9月12日	
研修先(国・都市・施設名)	オックスフォード大学(イギリス・オックスフォード)	
参加学生数	12名	知の森基金からの支援者：12名
プログラム概要	本プログラムは、人文学部所属の学生を対象として、グローバル時代の人文学を体現する人材を育成することを目的としています。参加学生は、オックスフォード大学にて、人文学の内容に特化した学習プログラムを学び、同大学と関連施設(図書館や博物館等)におけるフィールド学習を経て、最終的には、自らの研究成果を英語でプレゼンテーションすることが求められます。また、ホームステイ型の滞在を通して、現地の人々や文化に触れ合い、書物だけでは理解できない体験を通して、自らの学びを深めることも目標としています。	

実施状況・成果

8月31日、成田空港集合。オランダKLM航空にて、アムステルダムを経由してロンドンへ移動。ロンドンからバスでオックスフォードに移動し、初日から各自、それぞれのホームステイ先へと向かいました。

翌9月1日からは、午前中(9:00-12:30)、オックスフォード・ユニオンにおいて、美学史、知識の哲学、心理学・社会学、ビジネス人生論、英文学、ジャーナリズムを学び、午後にはプロジェクト実践として、オックスフォードの街の中で各人のテーマに沿ったフィールド作業を行いました。

最終日には、全員が一人15から20分ほどのプレゼンテーションを英語で行い、質疑応答を行いました。オックスフォードに縁のある人物についての発表「G・S・ルイスについて」「ジョン・ラスキンについて」や建物についての発表「ニュー・コレッジ学寮について」など様々なテーマについて、明瞭な発表が行われ、オックスフォードの講師からも非常に高く評価されました。

また、途中の休日には、ケンブリッジへと移動し、伝統的な舟遊び(パンティング)を体験し、また、ロンドン市内の美術館や大英博物館を見学するなどして、イギリス文化に触れることができました。とりわけ、9月2日の夜には、クライスト・チャーチでの晩餐会に特別に参加することもでき、学生たちには忘れられない夜になったことでしょう。

9月11日にオックスフォードよりロンドンへ移動。ロンドンからアムステルダム経由で、12日に日本に無事に帰国いたしました。

今回の研修を通して、1年生6名を含む総勢12名の学生たちは、人文学という学問が言葉の壁を越えて学ばれうるものであることを学び、今後の長期留学や海外で活躍できる仕事を視野に入れた将来設計へと関心を広げることができたと思います。

学生の声①ー人文学部 学生

帰りの飛行機にいる自分は行きの飛行機の中にいた自分と、全然違った自分になっていた。もちろん留学は初めてで、海外旅行も初めて。そんな自分が確実に成長できたと実感できたことの研修は、やはり、オックスフォードでなければ達成できなかっただろう。いろいろなこと(児童文学に関わる史跡の見学、英語に対する認識の変化、イギリスに対する生の知識、経験の獲得、その他名勝巡り)が自分の中にしっかりと刻み込まれ、本当にこの研修に参加してよかったと思う。

学生の声②ー人文学部 学生

実は迷いもあったのですが、在学中に一度は留学しなくては！という気持ち半分、イギリス生活の憧れ半分の気持ちで研修参加を決めました。わくわくする気分もありつつ、短期ながらも不安に思う部分もたくさんありましたが、杞憂でした。ホームステイ先の家族は想像以上に親切で、大家族(ペットも合わせて9人)で温かく迎えてくれました。オックスフォード・ユニオンでの毎日の午前講義は、興味深いトピックばかりで、英語はわからない部分もありましたが、それでも楽しんで、興味を持って講義に取り組むことができました。海外への興味を駆り立ててくれた研修でした。

12名のプレゼンター



プレゼンを終えて

